



一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 東京都地方部会 第248回学術講演会

担 当

日本医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

主任教授 後藤 穰

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

TEL 03-3822-2131 (代表) FAX 03-5814-6828

日 時

令和7年7月12日(土) 14:00~15:35

発表時間

口演7分、質疑応答3分

会 場

Meiji Seika ファルマ株式会社ビル 地下1階ホール

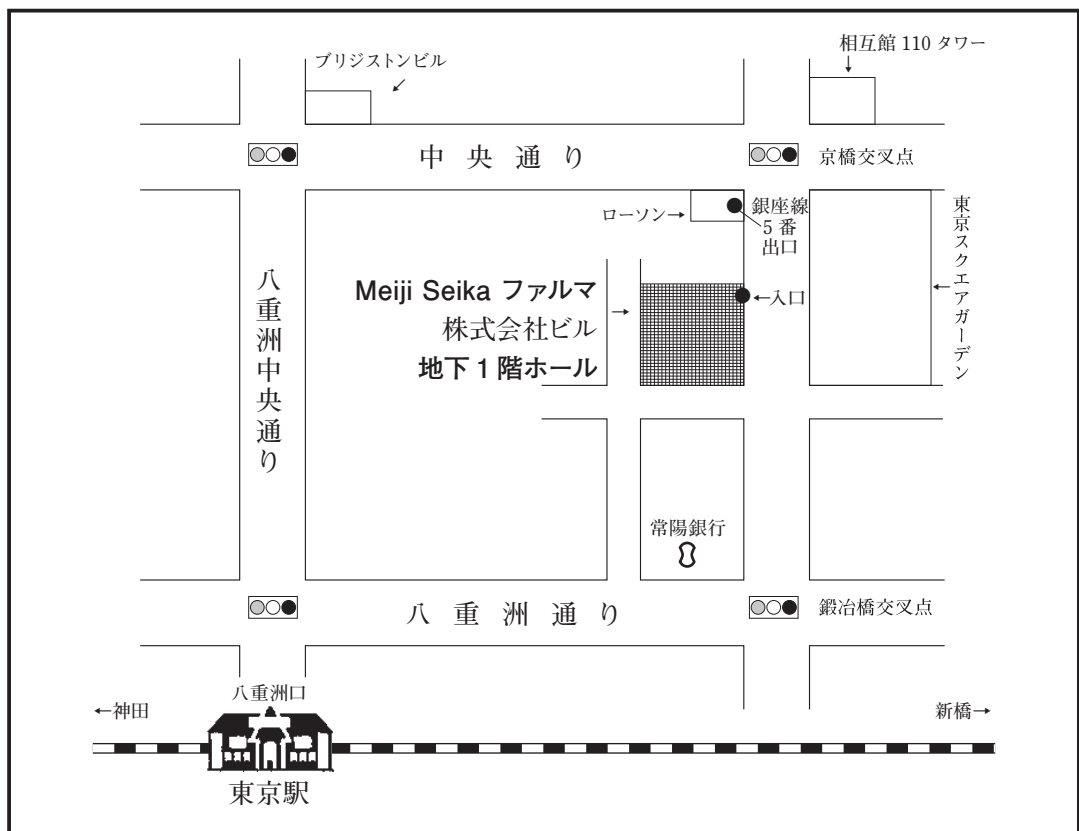
東京都中央区京橋2-4-16

TEL 03-3273-6030

交 通

JR 東京駅下車 徒歩5分 (八重洲中央口)

東京メトロ地下鉄銀座線 京橋駅下車 (5番出口) 徒歩3分



ご出席の演者およびご出席される会員の皆様には下記のご協力をお願いいたします。

*検温で37.5度以上の発熱がある方はご入場をご遠慮いただきます。

*入場時の手指の消毒にご協力をお願いいたします。

一般演題

開会の言葉

(14:00～14:05) 後藤 穰 (日本医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

第一部

聴覚医学 (14:05～14:25)

座長：佐久間直子 (日本医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

1. 両側聴放線障害による中枢性感音難聴の一症例

○穂吉 亮平¹⁾²⁾、加我 君孝¹⁾³⁾

- 1) 国立病院機構東京医療センター 臨床研究（感覚器）センター
- 2) 獨協医科大学埼玉医療センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科
- 3) 神尾記念病院

2. Auditory neuropathy を呈した視覚聴覚二重障害の成人の2例

○加我 君孝¹⁾²⁾、竹腰 英樹¹⁾³⁾、関口香代子¹⁾、南 修司郎⁴⁾、松永 達雄¹⁾⁵⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構東京医療センター・臨床研究（感覚器）センター
- 2) 神尾記念病院
- 3) 東京ロンフェルメ耳鼻いんこう科
- 4) 独立行政法人国立病院機構東京医療センター 耳鼻咽喉科
- 5) 独立行政法人国立病院機構東京医療センター 臨床遺伝センター

第二部

耳科学 (14:25～14:45)

座長：鈴木 宏隆 (日本医科大学多摩永山病院 耳鼻咽喉科)

3. 鼓室形成術後に遅発性顔面神経麻痺が生じた2症例

○川島 啓、佐久間直子、鈴木 宏隆、松延 毅、後藤 穰
日本医科大学付属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

4. 鼓室形成術後に鼓膜の化骨を反復した症例

○川崎 千春、阿彦 玲児、伊藤 健
帝京大学耳鼻咽喉科

〈休憩 15 分〉 14:45 ～ 15:00

第三部

咽頭喉頭疾患・ワクチン (15:00～15:30)

座長：後藤 穰 (日本医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

5. トリアムシロンアセトニド局注にて消失した再発性喉頭蓋肉芽腫の一例

○谷口 康平、坂本 耕二、矢部はる奈、後藤 穰

日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科頭頸部外科

6. 診断に時間を要したベーチェット病の一例

○奥平 雄祐、羽生 昇、富永 健裕、石川 雄惟

国家公務員共済組合連合会 立川病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

~~7. COVID-19 のワクチン接種が示した社会構造の変化 その5~~

~~○小崎 寛子~~

~~敬仁病院耳鼻咽喉科~~

閉会の言葉

(15:30～15:35) 後藤 穰 (日本医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

第249回学術講演会演題募集

日 時 令和7年11月29日(土) PM2:00～(予定)

会 場 Meiji Seika ファルマ株式会社 地下1階ホール

担 当 昭和医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座

演題募集 一般演題

締 切 日 令和7年10月27日(月) 必着

申 込 先 E-mail: i-suzaki@med.showa-u.ac.jp

TEL: 03-3784-8563 FAX は使用できません。

昭和医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座 洲崎 勲夫 宛

*申し込みは上記メールアドレス宛にお願いいたします。

申し込み時に演題、演者、共同演者、所属、抄録(200字以内)を記して下さい。

*学術講演会終了後に専門医講習会(共通講習)を予定しています。

東京都地方部会例会学術講演会の発表と地方部会誌掲載に関するお知らせ 学術講演会の発表について

1. 演題は全て E-mail (アドレスはその時の担当大学・病院) で申し込み、200 字の抄録をつけてください (E-mail で申し込みができない方は担当施設へ御連絡ください)。
2. 発表はすべて PC にて行なっていただきます。
3. 演者の方は、該当群30分前までに演者受付に、USB メモリーに保存したデータをご提出下さい (**ご持参の USB メモリーには発表データのみ入れておいて下さい**。CD-R や DVD-R は使用できません。一部はバックアップ用もご用意下さい)。
学会で準備した Windows コンピュータにファイルをコピーさせていただき、液晶プロジェクターにて投影いたします。
4. 「Windows 版 PowerPoint 2013-2024」で作動確認したファイルをご用意ください。Mac 使用の方は Windows ファイルに変換して、各自事前に文字ずれ/文字化けなどの有無を確認してからご持参ください。

学術講演会での動画使用について

1. Windows 版の Media Player で作動する形式をお使いください。
2. 動画ファイルには拡張子を必ず付けてください。
3. 実際に使用した際のリンク切れにご注意ください。メディアにコピーした後、作製した PC 以外の PC で動作確認することにより解決できます。
4. 受付可能な記録媒体は USB フラッシュメモリーのみとさせていただきます。データの容量は 100MB (総量) までとさせていただきます。
5. 不測の事態に備えて、発表ファイルの入ったご自身の PC をご持参ください。
6. 演者が登壇後に PC オペレーターが発表スライドの最初のページを表示します。演者はスライドを確認し、USB キーボード・マウスを各自で操作してください。
7. 動画使用の際は、演題申込み時に抄録に記載をお願いします。

地方部会誌への掲載について

1. 演題名、演者名、所属施設名および抄録は地方部会誌に掲載します。
質疑応答内容は掲載しません。
2. 総会の講演については演題名、演者名、所属施設名のみ掲載します。